



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターカメラリポート……………2ページ
- あかね塾「エコ・オリエンテリング」……………3ページ
- 地域の話題（衣笠校区・鎌田町内会）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

ハッチョウトンボの里 「黒河湿地植物群落」

市民発!

皆さんこんにちは。広報サポーターの河合です。今回は、愛知県の天然記念物に指定されている黒河湿地植物群落（大久保町）をご紹介します。



河合



●ハッチョウトンボのメス



●湿地の入口



★黒河湿地植物群落

●黒河湿地植物群落（大久保町）
愛知県における「植物群落」としての天然記念物指定の第1号。シデコブシやチャヤナギ、シラタマホシクサなどの貴重な植物が数多く群生し、沼地には、ハッチョウトンボやサンショウオなども生息しています。



●トウカイコモウセンゴケ（右上は花）

自然豊かな湿地

緑に囲まれた黒河湿地の入口を通っていくと、そこには一面に希少な植物が広がっていました。私がここに来た一番の目的は、ハッチョウトンボ。あの小さく可憐な姿をカメラに収めるためでした。

しばらく探すと、お目当てのハッチョウトンボを発見しました。ハッチョウトンボは日本一小さなトンボといわれ、きれいな水の湿地にすむ昆虫です。鮮やかな赤色がオス、茶色がメスで、体長2cmほどです。アンペライという湿地に生える多年草の上で羽根を休めていました。

次に青い実と赤い植物を発見しました。青い実はシデコブシの実で、熟すと果皮が自然にパカッと割れて赤い種子が見えます。シデコブシの自生地は東海三県にのみ分布し、湿



▲シデコブシの実

原や溪流沿いなどの限られた場所に生える貴重な植物で、愛知県絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

赤い植物はトウカイコモウセンゴケで、葉の色の鮮やかな赤色の特徴です。栄養分の少ない湿地に生える食虫植物で、葉の表面にある腺毛から出る粘液で虫をとらえて消化吸収し、水分は地中から毛細管現象によって供給されるそうです。トウカイコモウセンゴケは、ちょうどピンク色の小さな花を咲かせていました。